

朱子語類『口語語彙』索引

增訂版

塩見邦彦編

YD

中文出版社

朱子語類「口語語彙」索引 ¥3,000
1988年5月再版

著 作 者 塩見邦彦 編
發 行 所 株式会社 中文出版社

本 社 606京都市左京区吉田本町29

電話 京都 (075) 771-4341

振替 京都 3-11342

販売部 606京都市左京区田中門前町91

電話 京都 (075) 701-2898

FAX 京都 (075) 702-4877

序

高義矢

『朱子語類』の文章はいつになつても読みにくい。毎日のように集中して読み続けていないと、内へ入ってゆくことがむつかしい。たとい半年でもこれとごぶさたした後では、読み進むテンポがかなり落ちてしまう。これが私の昔からの経験であつて、今でもそうである。これは内容への理解のしかたについてというよりも、まずその文章の読み取りかたについての話である。内容が解るためには、文章がきちんと読めなくてはならない。しかも『語類』の文章はすべて対話の言葉で綴られている。対話の記録であるから、たとい話し言葉通りではなくとも、全体として口語体の文章になつている。師弟の間の問答は、常に真摯な学問論や修養論とめぐって熱っぽく展開されるが、またしばしば対話者相互の人間性が滲み出た感慨や情念が、極めて率直に吐露されることもある。特にこういうところでは、ほぼ語られたままの口語が、もとの語りくち通りに記録されている。

一例として、朱子が晩年に一人の弟子に語り聞かせた述懐を聞いてみよう。

文字可汲汲看、悠悠不得。急看、方接得前面看了底。若放慢、則与前面意思不相接矣。莫学某看文字、看到六十一歲、方略見得道理恁地。今老矣、看得做甚使得。学某不濟事。公宜及早向前。（卷115、第33条）

本はガツガツ読むことだ。トロトロでは駄目だ。カッカと読んでこそ、先に読んだものとつながってくる。もしおっとり構えていたら、先に見た意味とつながらなくなる。私の本の読みかたと來たら、六十一歳まで読んで来て、や、とこうだという道理があらまし判るようになつたのだが、こんな真似はしてくれるな。今はもう年老いてしまつた、判、たとて何の役に立つものか。私の真似としては駄目だぞ。君は今の若いうちに突き進むがよい。

上の文中、「則」、「矣」、「宜」という文語の助字を除けば、ほとんどみな話し言葉通りの記載である。ことに「看得做甚使得」という句などは、吐き棄てるような自嘲の響きが強く出ている。というのは、「看得做甚」だけで上の意味は十

分に充足するのに、更に「使得」と続いているからである。句末に用いる「做甚」は、古くは「作摩」（摩=麼）・「作什摩」と言い、「何になる！」、「何の役に立つ！」という意である。それに更に「使得」が加わると、上の語氣は一層強化される。朱子晩年の老愁にも似た心境の一側面が、こういう言い廻しのはしからも覗かれるのである。

このたびの塙見君の労作『口語語彙索引』と、私はその原稿作成の段階でなんども見せてもら、たが、今まで「なに気なく読み過ごして」きた語彙を改めて再発見させられることが少なくなかった。例えは「怎生」「得恁～」「第一莫～」など、唐宋の禅家語録に頻用される語であることを知っていたため、それが『朱子語類』に出てきても心に留めることなしに見過ごしててきた。また「からだ」のことを「身体」でなしに「身己」というのは口語であるが、これが金・元では「身起」「身氣」「身奇」などと表記される語と同根であることも、このたびの『索引』を見て初めて気付かされた。

近年、中国の学界では訓詁学が新たな展開の気運を示し、特に唐・宋・元の白話語彙についての発掘と考證が盛んに進められている。宋代のそれについていえば、今のところ詩餘と話本類を中心とし、宋儒の語録と語類に及ぶものはほとんどなく、特に大部な『朱子語類』については手着かずのままである。塙見君のこのたびの『口語語彙索引』は、本格的な訓詁のための前段階として、まず『語類』百四十巻をすべて読むことによって、その中の口語語彙を特定して選び出し、それらを発音順に一覽表としてまとめ上げるという基礎作業であった。まさに前人未踏の仕事であるが、同君はすでにこれ以前に『全唐詩』を通覽して、唐詩に現われる俗語の主要なものにつき数篇の考察を発表している。このたびの『索引』作成に当ても、従て語彙特定の作業の進めかたに語史的な展望がひそかに裏打ちされているはずである。やがてその觀点が更に熟成するに至った段階で、各語彙の意味の決定と併せて、広く宋代の言語の語彙史的研究が約束されることになろう。

『朱子語類』に見られる口語については、古くは朝鮮の朱子学者や、わが江戸時代の学者による幾つかの業績があるが、どれも断片的なクロッサリーに止まり、『語類』全体を精査した上で包括的な知見を呈示したものではなく、また考証資料の援用も見られない。

例えば、元代編纂の類書『居家必用事類全集』甲集に、「王虛中訓蒙法」というものが転載されており、その「記訓懶字」という一条には、童蒙に古典と教えるときのパラフレーズの要領と、次のように説いている。

可今日記所読書上訓懶字三兩箇。如「不亦說乎」、說、喜也。「不亦樂乎」、樂、甚喜也。若不能曉得甚喜、則以方言教之、如云「大故歡喜」。「人不知而不愠」、愠、怒也。若不曉得怒字、則以方言教之、云「怒是惡發也」。「甚だ喜ぶ」と「大故歡喜」（とてもうれしい）と口語に言い替え、「怒る」と「悪発」（腹を立てる）と口語に直して教えよといふのである。元・明時代に流行した庶民向けの教本「〇〇直解」に見られる訓詁法も、これとほぼ同じ方式である。「大故」も「悪発」も宋代の口語であるが、後者は唐代以来の言葉であり、前者はやがて「大段」に取って代られる。こういう零細な資料も、気を付けて蒐集すれば、『語類』の口語を解明するのに役立つであろう。

話が先へ進んでしまったが、それも、この『索引』が更に次の段階で果たすべき役割についての期待を籠めつつ、展望の一端を先取りして述べたにすぎない。そのための基礎的な工具書として、この『索引』が研究者によって広く活用されることを心から願っている。

一九八四年九月

序

入矢 義 高

《朱子語類》的文章，是讀了好久也不會減少難懂的部分。不是天天集中精力堅持讀下去，就很難鑽進去。若放下半年再來讀，那讀書的速度就會相當減慢的。這是我從前讀過時所得的經驗，現在還是同樣。這話倒不是對內容的理解，就是對文章的體會而說的。為了真正地了解內容，必須準確讀到它。況且《語類》的文章，全是用對話體寫成的語言。由於是對話的記錄，即使有不是口頭語的部分，但從總體來看，還是由口語體的文章構成的。

師生之間的問答，是經常在真摯的學問論和修養論上熱情地展開，同時也很真率地吐露出交談者彼此之間的感慨和情感；特別是像這樣的地方，大致上保持着說話人所說的口語，依照說話人原樣的口氣記錄下來的。下面舉一條為例，試聽朱子在晚年講給一個弟子的談心話。

文字可汲汲看，悠悠不得。急看，方接得前面看了底。若放慢，則與前面意思不相接矣。莫學某看文字，看到六十歲，方略見得道理恁地。今老矣，看得做甚使得。學某不濟事。公宜及早向前。（卷115，第33條）

上面的文章中，除了則、矣、宜等文言的助字外，其他的幾乎都是用口語記載的。特別是“看得做甚使得”這一句，如實表現出像吐掉似的自嘲口吻。只說“看得做甚”就足已表現原意，而後面再加上“使得”來強調的。這個句末使用的“做甚”，唐代是說“作摩”（摩=麼）“作什麼”，意思是“頂什麼！”“有什麼用！”；再加上了“使得”，就更加強了原來的語氣。朱子晚年懷有的一種愁悶似的心境，也從這種表達方式可以察覺到的。

現在，塙見君的精心著作《朱子語類口語語彙索引》完成了。在他寫底稿的過程中，我曾閱讀了幾次，却重新發見了過去我無意中忽略過的不少詞語；比如“怎生”“得恁～”“第一莫～”等詞語，因我已知這些都是習用在唐宋的禪家語錄裏所以出現在《朱子語類》裏也就沒留意而放過了。還有“身子”不說成“身體”，却說成“身己”，這也是口語，跟金元時代寫做“身起”“身奇”“身氣”等詞語

是出於同一來源的。這次我在看《索引》底稿時，才發現這一事實。

這幾年來，中國學術界裏，對訓詁學重新掀起了鑽研的氣象，特別是對於唐宋元的白話詞語的發掘和考證，在報刊上陸續發表文章。其中，對於宋代的白話研究來講，目前僅以詩餘和話本為中心，而涉及到宋儒的語錄和語類的幾乎還沒有；尤其對這樣大部頭的《朱子語類》，至今尚未動手。塙見君的這部《口語索引》，可算為正式訓詁的準備階段的。他首先從頭到尾讀完了《語類》一百四十卷，專門選定了其中的口語詞彙，然後把這些詞彙按照漢語拼音的次序編成一覽表。這是一件前人沒有做過的基礎性的工作。以前他讀過《全唐詩》全部之後，發表過幾篇文章，考察唐詩裏出現的主要口語。這次他編製這本《索引》，在選定詞彙的過程中，一定會襯托着語史上的展望。這個觀點要達到了更成熟的階段時，才可能奠定各個詞語的意義，同時關於宋代語言的詞彙史研究就會全面地展開去。

對於《朱子語類》中所見到口語的研究，舊時只有朝鮮的朱子學專家和我國江戶時代學者所得的一些成果，但都只不過是一些片斷性的注解。至今還沒有把《語類》全部經過精細調查而提出具有總括性之見識的文章，也見不到援引旁證資料的文章。

下面舉這種資料的一例。元代編纂的類書《居家必用事類全集》甲集，轉引《王虛中訓蒙法》，其中的“記訓釋字”一條說，教給童蒙古時必須領會如下的初步要點：

可今日記所讀書上訓釋字三兩箇。如“不亦說乎”，說，喜也。“不亦樂乎”，樂，甚喜也。若不能曉得甚喜，則以方言教之，如云“大故歡喜”。“人不知而不愠”，愠，怒也。若不能曉得怒字，則以方言教之，云“怒是惡發也”。

說的是“甚喜”換成“大故歡喜”（非常高興），把“怒”改成“惡發”（生氣），用這樣改換口語的方法來教的。元明時代流行的用於庶民的教本《××直解》，也大致用着這樣的訓詁法。“大故”“惡發”都是宋代的口語，後者是唐代以來使用的，前者不久被“大段”代替了。這些都是零星的資料，但小心地蒐集起來，就一定有用於理解《朱子語類》的口語。

話說得有點搶先。這只不過是我抱了期望，對這本《索引》在更進一步地發展階段上將會發揮的作用，而預先說出了一點展望罷了。我衷心希望這本基礎性的工具書，能夠被研究者廣泛地利用。

一九八四年九月

凡例

- 一、本索引は『朱子語類』一百四十卷から、主として口語々彙を採集して、中国語発音順に排列したのである。その体裁は、ほぼ入矢義高編「敦煌变文集口語々彙索引」(1961. 油印)、太田辰夫編「祖堂集口語々彙索引」(1962. 油印)にならった。
- 二、底本としては、民国六十二年三月、正中書局印行(1970.8. 京都・中文出版社印行)の影印明刊八冊本及二冊縮印本を使用した。
- 三、『朱子語類』には異体字が多く使用されているが、そのほとんどは版本の異体字のまゝ収めた。
- 四、呼応関係の語彙の内、例えば「須～方始」の語彙を採集する場合、一つは「須～方」として採り、もう一つは「方始」の語彙として採ってある。他の呼応する語彙もそれに準ずる。
- 五、多く出現する語彙については、最初に現われた五單語の頁数で示し、あとは……で示した。但し、特異と思われるものはこの限りではない。
- 六、I, IIは各々第一冊目、第二冊目を示している。例えば“安排 I-150, 179, 183, 224, 233……”は、第一冊目の各々の頁に現われることを示している。最近、中文出版社は、同じ影印本を上、下二冊で刊行したが、頁数に異なる所はない。但し、正中書局印行初版本の65頁が中文出版社版の1頁である。

凡例

- 一、本索引是依據《朱子語類》一百四十卷本而編的。主要的是採集了其中屬於口語語彙部分，並以漢語拼音之序排列。其體裁是仿效入矢義高編《敦煌變文集口語語彙索引》（1961年油印）和太田辰夫編《祖堂集口語語彙索引》（1962年油印）兩書。
- 二、底本使用中華民國六十二年正牛書局印行（1970年8月京都中文出版社印行）的明版影印八冊本及二冊縮印本。
- 三、《朱子語類》所使用的很多異體字，都準版本的異體字錄用。
- 四、呼應關係的語彙之中，比如採集“須～方始”的語彙時，一以「須～方」另者以「方始」採用，其他有關呼應的也以此為準。
- 五、對於頻出的語彙，則第一次出現的五語表其頁數，後者皆用省略號代之。但是，具有特異的不在此限。
- 六、I II …… 等等是表示第一冊，第二冊……。例如對“安排”來說“ I - 150.179.183.224.233 ……”是表示出現在第一冊的前舉各個頁數中。最近中文出版社用同影印本分為上下二冊出版，雖未變動其頁數，但正牛書局印行初版的第六十五頁等於中文出版社的第一頁。

朱子語類 附人名地名書名索引

B5精2冊

宋黎靖德編輯 ■中日合璧版

錢 穆序 岡田武彦跋

■據臺灣國立中央圖書館藏本影印

■據日本內閣文庫藏覆成化本修補

■附朱子語類的歷史（胡適）

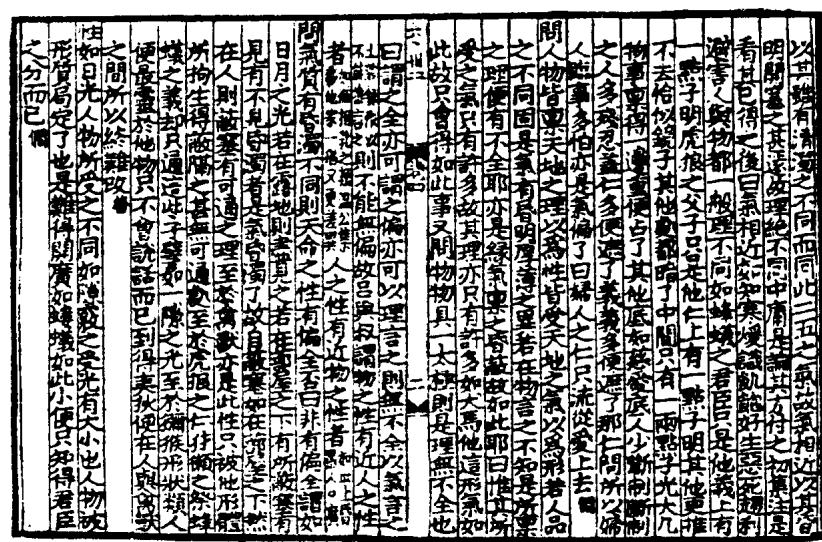
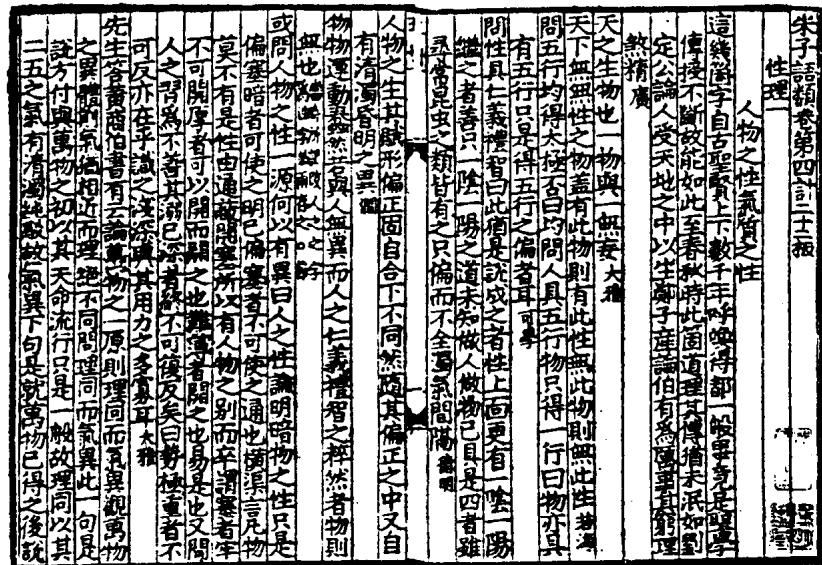
■附朱子語類版本比較表（李廸揚）

■附正中書局本與內閣文庫藏覆成化本校勘表（李廸揚）

■附朱子語類之成立及其版本（岡田武彥）

■附朱子年譜（葉公回校）

索引底本



女	妨	54	水	求	137	人	併	12	妻	129	拖	175	突	173	咬	197
	姊	234	氵	沉	19	人	來	103	始	152	押	195	花	75	咤	219
子	孝	187		沈	19		例	107	委	178	招	220	芥	91	咤	20
宀	宏	73		泛	53		使	152	孤	64	放	54	芽	91	城	49
宀	完	176		汲	80		依	208	孟	116	昏	77	茅	195	塚	188
宀	局	96		決	95		兩	50	定	45	明	117	奔	75	奔	7
宀	尾	178		沒	115		具	108	官	66	旨	152	姦	111	姦	69
宀	希	181			119		其	97	宛	176	易	210	虎	111	客	100
宀	序	193			116		刺	130	尚	236	服	60	表	195	室	154
宀	弄	123			146		到	115	居	147	朋	124	軋	92	宣	193
宀	弃	131			177		刻	17	屈	96	東	46	近	212	封	58
宀	形	190	火		233		制	38	岸	138	果	68	迎	188	屋	12
宀	彷	54	牛		105		効	65	帖	2	林	110	邪	103	度	154
宀	役	210	牛		71		卓	101	底	170	杪	117	鄖	91	建	84
宀	忍	141	口		218		卒	228	延	39	枉	177	金	182	待	69
宀	忘	167	口		218		卷	187	往	195	杳	223	長	103	急	100
宀	志	177	木		160		变	232	忽	177	枕	225	門	220	怒	154
宀	快	228	木		94		取	237	忽	58	枝	12	附	116	思	193
宀	戒	102	木		108		受	97	念	74	泊	12	陂	1	怨	154
宀	把	91	木		115		咄	11	怪	122	法	52	阻	60	怨	84
宀	抄	2	木		85		咄	138	怜	102	沮	96	青	124	惄	69
宀	抖	19	口		185		咄	156	怡	123	泥	117	非	237	惄	100
宀	扶	46	口		88		咄	50	怜	136	泡	121	品	136	惄	154
宀	抉	59	口		195		咄	59	怡	208	油	124	喚	58	惄	84
宀	批	95	口		22		咄	71	或	79	沾	213	品	171	惄	193
宀	投	124	口		237		咄	74	房	54	治	219	喚	5	惄	193
宀	抑	173	口		237		咄	97	所	164	注	228	喚	10	惄	215
宀	折	210	口		148		咄	118	承	20	炒	231	喚	27	惄	218
宀	抓	222	口		19		咄	123	拔	2	炊	19	喚	92	惄	236
宀	改	231	口		189		咄	124	抱	6	爭	25	喚	163	惄	73
宀	攻	60	口		214		咄	178	抱	17	狀	224	喚	181	惄	76
宀	攸	63	口		120		咄	229	拆	22	版	232	喚	134	惄	131
宀	更	213	口		54		咄	65	抽	43	物	6	喚	186	惄	193
宀	肚	63	土				並	124	抵	59	狗	180	喚	218	惄	216
宀	材	47	土				并	127	拂	96	玩	64	喚	117	惄	216
宀	呆	14	口				并	166	拘	103	的	176	喚	7	惄	21
宀	杜	36	口				并	198	拉	121	直	40	喚	121	惄	64
宀	李	47	口				并	58	拈	123	知	226	喚	140	惄	103
宀	束	106	口				并	129	拗	123	空	225	喚	193	惄	227
宀	每	157	口				并	48	拍	123	的	101	喚	126	惄	65
宀		116	口				并	64	抨	124	知		喚	195	惄	151
							畫						畫			
							八						畫			

日	25	眇	117	人	7	倍	163	广	病	12	逆	121	商	146
	73	省	150	人	15	倉	181	目	疾	80	送	163	唯	178
	115	相	185	人	166	倘	223	石	真	228	逃	166	問	179
	154	研	195	人	38	倒	128	木	破	21	退	175	圈	97
月	212	神	149	人	54	做	227	大	秤	227	追	232	堆	49
	220	祖	237	人	58	奉	219	竹	祇	188	酒	94	基	80
	238	科	100	人	91	借	58	米	粉	58	配	124	堂	166
木	7	秋	137	人	134	倩	25	金	純	25	酌	233	執	226
	74	穿	24	人	210	倚	57	門	紐	146	釘	45	婢	7
	119	奇	129	人	84	兼	123	弓	索	223	針	223	寂	80
	124	紅	73	人	118	冥	123	馬	紊	146	閃	146	寄	82
	165	約	者	人	47	凍	164	牛	紙	23	除	23	寇	101
	11	耐	耐	人	232	准	179	馬	耕	227	降	88	密	117
	219	苟	苟	人	12	剝	227	骨	耗	227	隻	114	將	86
	65	苦	苦	人	18	剝	63	高	耘	65	馬	61	崛	96
	84	茄	茄	人	61	剝	71	高	致	61	骨		崎	129
	119	若	若	人	128	剝	216	馬	草		高		崖	1
	129	衍	衍	人	167	剝	6	骨	芻				常	18
	140	要	要	人	215	剝	60	骨	蕩				帶	37
	142	計	計	人	12	剝	83	骨	茫				強	134
	231	負	負	人	18	剝	89	骨	茹				張	220
	48	軍	軍	人	61	剝	216	骨	蟲				彌	44
	46	迫	迫	人	128	剝	156	骨	蠧				從	25
	73	述	述	人	167	剝	146	骨	蟲				得	40
	78	遙	遙	人	215	剝	211	骨	蟲				徙	181
	91	郎	郎	人	114	剝	130	骨	蟲				惡	50
	94	重	重	人	183	剝	59	骨	蟲				悉	181
	144	限	限	人	164	剝	70	骨	蟲				悠	213
	124	面	面	人	69	剝	83	骨	蟲				情	136
	73	革	革	人	83	剝	105	骨	蟲				惆	177
	89	風	風	人	142	剝	111	骨	蟲				惱	181
	105	飛	飛	人	148	剝	186	骨	蟲				惟	213
	223	食	食	人	188	剝	44	骨	蟲				憇	136
	148	首	首	人	210	剝	167	骨	蟲				憐	177
	91	香	香	人	104	剝	97	骨	蟲				惜	181
	178	首	首	人	26	剝	104	骨	蟲				憊	181
	76	香	香	人	185	剝	182	骨	蟲				戚	191
	89	首	首	人	185	剝	7	骨	蟲				撫	129
	98	眉	眉	人	7	剝	230	骨	蟲				採	1
日	116			人	135	剝	24	骨	蟲				措	14
				人		剝	111	骨	蟲				掉	28
				人		剝		骨	蟲				撥	44
				人		剝		骨	蟲				掛	49
				人		剝		骨	蟲					65

接	89	清	197	設	102	斯	161	猥	178	街	89
捎	101	牽	133	許	146	曾	16	猶	213	裁	14
控	102	猝	27	貪	181	暉	25	猪	230	補	13
掠	114	率	157	責	193	景	93	番	52	裡	105
排	123	理	106	連	214	普	129	畫	75	詁	9
掃	145	現	185	通	6	替	169	痛	172	訶	17
捨	148	琢	233	透	84	智	226	發	51	註	71
探	166	產	18	造	89	堅	228	着	98	費	231
推	174	畢	9	還	200	堦	237	硯	221	買	58
掀	184	略	113	逐	1	壹	129	硬	233	貼	114
掩	195	畦	130	部	18	奧	134	祿	196	趨	170
教	89	異	210	都	40	孱	220	程	212	越	19
救	94	痕	73	鄉	171	富	47	稍	112	跌	21
斬	219	痒	196	閉	173	尋	58	竦	20	躰	64
旋	193	盛	20	陳	218	就	80	答	147	間	44
晦	77	蓋	60	陪	222	帽	146	等	163	闊	176
曼	114	眼	116	陶	230	幾	176	筋	29	限	168
晚	176	祭	196	陰	185	廊	210	粥	40	階	210
晝	230	移	80	頂	9	徧	218	粄	91	集	29
皆	188	竟	208	頃	19	循	221	給	230	順	178
脚	88	第	93	鹵	124	惡	129	絞	231	項	108
脫	175	符	40	陪	166	惻	207	結	63	須	50
望	178	粗	59	陶	211	惺	16	絮	89	飯	64
脗	179	粘	27	陰	45	掣	26	絕	90	飲	73
脾	131	累	122	頂	136	揆	76	絡	89	黃	84
條	170	紹	105	頃	112	撲	77	絲	95	黑	97
欵	103	糾	148	鹵	114	撲	85	統	113		184
殼	100	終	181	勞	122	撲	101	羣	116		40
毫	70	習	228	勝	105	撲	117	翁	172		89
淬	28	抵	181	厨	151	撲	138	聒	185		178
涵	70	船	155	喫	105	撲	179	話	182		82
混	78	菜	25	單	150	撲	196	舒	65		160
涼	108	莫	15	喉	23	撲	213	舊	156		186
淪	113	處	119	喫	23	撲	234	萃	18		191
淺	134	虛	23	單	192	撲	58	菜	28		53
清	136	術	192	喉	157	撲	88	莢	68		211
涉	148	裹	106	喫	106	撲	140	莽	115		76
深	148	袱	59	喫	59	撲	178	萌	116		73
淘	166	規	67	喫	73	撲	179	菩	128		
添	169	物	27	喫	76	撲	231	萎	178		
涯	195			喫	80	撲	115	衆	229		

十二畫

備	7	人	備	7
傍	124	人	傍	124
傘	145	入	傘	145
兜	46	几	兜	46
創	25	几	創	25
割	62	几	割	62
剩	151	几	剩	151
勞	105	力	勞	105
勝	150	力	勝	150
厨	23	广	厨	23
喫	21	口	喫	21
單	37	口	單	37
喉	73	广	喉	73
喫	76	广	喫	76
喫	80	广	喫	80

十三畫

乙人	113	月	18	102	心	211	穀	65	閑	62
	1	*	121	90	+	15	種	229	閒	73
24	24	竹	232	155	六	114	窓	25	際	179
	28	24	163	163	立	90	高	179	隙	82
133	133	朱	44	93	竹	118	端	48	障	182
	136	136	131	221	木	216	竭	89	需	220
146	146	金	188	228	金	237	箇	61	靜	192
	126	38	189	238	木	118	管	66	領	93
口	61	火	77	140	木	134	精	93	散	111
	165	165	117	163	木	121	綽	25	髮	173
103	103	白	129	180	木	219	綱	61	頭	54
	144	166	166	46	木	62	緒	117	麼	77
165	170	170	166	163	木	130	綴	177	齊	114
	174	*	181	177	木	118	罰	193	齊	130
102	102	火	53	222	木	240	聚	232	儉	84
	61	61	108	233	火	7	蒼	52	儂	123
107	178	火	123	71	火	61	蒙	97	傍	124
	1	61	182	112	火	8	蓄	15	劇	97
140	140	火	195	106	火	134	蒸	60	嘿	119
	185	231	231	103	火	107	褊	116	器	131
210	210	火	146	232	火	15	誠	193	嘻	181
	214	214	193	90	火	228	誨	224	墮	187
214	12	五	221	234	火	43	認	11	墜	49
	134	134	197	60	火	43	說	20	密	58
80	80	田	151	67	火	86	誦	77	寫	232
	6	12	182	76	火	112	豪	141	層	149
12	29	玉	75	151	火	112	貌	158	履	188
	163	134	38	153	火	114	賊	163	蹠	16
94	94	80	80	185	火	114	羣	214	幃	113
	223	223	9	218	火	119	急	214	廣	197
189	189	火	47	102	火	150	71	224	彈	129
	2	77	47	112	火	197	115	61	影	18
77	77	火	178	170	火	220	224	59	微	59
	6	12	9	89	火	194	61	213	懶	67
12	29	火	47	217	火	123	156	213	懶	38
	163	131	157	9	火	37	215	59	會	212
94	94	火	164	195	火	100	208	136	微	19
	223	223	1	11	火	164	208	215	懶	224
189	189	火	92	50	火	120	92	211	懶	15
	2	77	92	50	火	178	19	211	會	113
十五畫										
十四畫										
十三畫										
十二畫										
十一畫										
十畫										
九畫										
八畫										
七畫										
六畫										
五畫										
四畫										
三畫										
二畫										
一畫										

